



# フジタカ"ンカニュース

vol.13 2011.10.17



## 黒目の周りが「白っぽい」のは白内障！？

ある晴れた日の屋下がり、初老の男性が初めて藤田眼科を訪れました。その時の会話が…

患者 A 「黒目の周りに白い輪ができてきました。これは白内障ですよね？もう手術をうけた方が良いでしょうか？」

フジタ 「白内障は目の中のレンズが濁る病気です。したがって視力が下がることはありますが、一般的な外見に特徴は無いのです。つまり今回の訴えは白内障によるものではないと思います。とりあえず、細隙顕微鏡(←右写真参照。皆さんに顔をのせて頂き診察時に僕が覗いているあの機械の事です。)で診察させて頂きますね。」



フジタ 「えーっと…これは白内障ではありませんね。『老人環(ろうじんかん)』

と呼ばれる病態ですが、治療法がありません。ただし原則として視力低下の原因になることはありませんので、放ったらかしておいてよいのです。」

患者 A 「そうですか、手術は必要ないのですね…良かった～。安心はしましたが、この白いのが何だか分からないのも不安です。先生、『老人環』って一体何なのですか？」

フジタ 「そうですね…それでは、以前に自治医科大学で眼科教授をされていた水流忠彦(つるただひこ)教授が書いた説明の文章がありますのでコピーをお渡ししましょう。そちらをお読み頂くと良いと思いますよ。」

患者 A 「有難うございます。早速、家に帰って読んでみます!!」

…というやりとりでした。また、日頃の診療でも2-3カ月に一度はこうした相談に出くわします。外見に関わることはパッと見ただけでもわかるので、患者さんの心配も過大になりがちなもの。以下、水流教授の文章を引用・転載(元が専門家向けの文章なので、一部表現を口語的に修正してあります、ご了承下さい。)させて頂きます。ではどうぞっ!!

老人環とは、高齢者の角膜の周辺部に沿って環状に脂質が沈着し白色や黄白色の環状混濁を生じるものです。脂質が角膜組織に沈着し混濁をきたすことは、眼科的にしばしば経験されることです。角膜への脂質の沈着をきたす疾患としては1)角膜環(老人環と前部胎生環≡若年環)2)角膜外傷、実質性角膜炎などによる角膜血管新生に続発して生じるもの3)全身性の脂質代謝異常によるもの4)角膜血管新生や全身的疾患がなく、原発性に角膜にリン脂質が沈着するもの(=顆粒状角膜変性症)などがあります。

角膜環の多くは老人環ですが、稀に若年者に見られることもあり、前部胎生環あるいは若年環とよばれています。老人環では、環状の混濁と角膜輪部との間には幅0.3~1.0mm程度の透明帯があるのが特徴です。老人環は通常40歳以降に出現し、最初は角膜の下方の位置に出現し、次いで上方、その後次第に融合して全周に及ぶという経過をとることが多く、混濁はまず角膜実質深層に生じ、ついで角膜浅層に生じます。老人環は女性より男性に早期に出現し易く、40歳から60歳の男性の約60%、70歳から80歳の男性の約90%に見られるとされています。また、老人環の発症頻度や出現年齢には人種差のあることが知られ、黒人では白人に比べ若い年齢で出現し易く、カナダエスキモーにはほとんど見られないなどの報告があります。

(1)老人環の原因；組織化学的には、老人環はコレステロール、コレステロールエステル、リン脂質および中性脂質から成っており、病理組織学的には、これらの脂質が細胞外の角膜実質膠原線維間に沈着しています。これらの脂質は角膜周辺にある血管に由来すると考えられています。(2)生化学的脂質との関係；50歳以降の老人環では、全身的な脂質代謝異常との関連はない場合が多いが、50歳未満での老人環では、II型およびIII型の高リポタンパク質血症との関連があるとされています。なお、老人環とは成因がやや異なりますが、種々の原因で角膜実質内に血管侵入を生じた例では、血清総コレステロール値が200mg/dL以上の例ほど脂肪沈着をきたす危険性が高いとの報告があります。(3)抗動脈硬化剤などの投与の必要性；老人環による角膜混濁は進行しても角膜周辺部に留まり、通常視力障害の原因となることはないため、眼科学的には治療の必要性はありません。ただし既述の通り、50歳未満での老人環ではII型およびIII型の高リポタンパク質血症との関連があるとされているほか、冠動脈疾患の危険性が高いことや、腱や血管などの臓器に黄色板を生じ易いことが指摘されています。したがって、上記の脂質代謝異常や心血管異常が存在する場合には、高脂血症や動脈硬化に対して適切な内科学的治療が必要と考えられます。(4)白内障などの眼科的老化現象との関係；眼科的に加齢と密接に関連している現象としては、老視(調節力の低下)や網膜感度の低下などがあり、疾患としては白内障と加齢黄斑変性症が代表的なものであります。しかし、老人環とこれらの眼科的老化現象との間に疫学的な関連があるとの報告はないようです。



携帯サイト用QRコード

<http://www.fujita-ganka.com>

**Fujita Eye Clinic**  
**藤田眼科**  
 042 (645) 0575